

hp smartアレイ641/642 コントローラ インストールの概要



©2002 Hewlett-Packard Development Company, L.P.
©2002 日本ヒューレット・パカード株式会社

Microsoft、WindowsおよびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。IntelおよびPentiumは、米国Intel Corporationの登録商標です。Itaniumは、米国Intel Corporationの商標です。UNIXは、The Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、そのままの状態を提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品に対する保証については、当該製品に付属の限定保証書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で 사용되는場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

初版（2002年11月）
製品番号 309312-191



309312-191

システム要件

サーバの互換性およびサポートされるオペレーティングシステムについては、HPのWebサイト<http://www.hp.com/products/smartarray/>（英語）を参照してください。

このコントローラでサポートされるハードディスクドライブの最新リストについては、HPのWebサイト<http://www.hp.com/>（英語）を参照してください。

安全に関するご注意



警告： けがや装置の損傷を防止するために、この装置のインストールを開始する前に、サーバに付属の安全上の注意事項およびユーザドキュメンテーションを参照してください。多くのサーバで、危険な高電圧が発生する可能性があります。修理をする場合は、HPのサービス窓口にご依頼ください。感電の危険を回避するためにカバーやインターロックが取り付けられている場合は、カバーを取り外したり、インターロックを無効にしたりしないでください。

規定に関するご注意

装置に貼られたラベルは装置のクラス（AまたはB）を表示するものです。

- クラスA装置の場合は、VCCIロゴが表示されていません。
- クラスB装置の場合には、ラベルにVCCIロゴが表示されています。

装置のクラスを確認したら、『HP Smartアレイ641/642コントローラ ユーザガイド』の「規定に関するご注意」を参照してください。このユーザガイドは、印刷物またはコントローラ製品ドキュメンテーションCDに収録されたファイルとして、コントローラキットに付属しています。

追加情報の入手先

この資料に記載されていない情報が必要な場合は、以下の情報ソースから、より詳しい情報を入手できます。

- 『HP Smartアレイ641/642コントローラ ユーザガイド』
- HPのWebサイト（<http://www.hp.com/>）

キットの内容

1. Smartアレイ641または642コントローラ

2. SmartStart CD

このCDが同梱されていない場合は、代わりにサポート ソフトウェア キットが同梱されます。

このCDには次のものが収録されています。

- SmartStartおよびInsightマネージャ ソフトウェアのドキュメンテーション ファイルとデモンストレーション
- コントローラ用のデバイス ドライバおよびサポート ソフトウェア
- Rack Builderユーティリティ
- アレイ コンフィギュレーション ユーティリティ (ACU)
- ROMアップデート ユーティリティ
- Server Diagnostics
- マネジメント エージェント

3. サポート ソフトウェア キット

このキットのCDおよびディスクットには次のものが含まれています。

- コントローラ用のデバイス ドライバおよびサポート ソフトウェア
- システム コンフィギュレーション ユーティリティ (SCU)
- アレイ コンフィギュレーション ユーティリティ (ACU)

4. コントローラ製品ドキュメンテーション (CPD) CD

すべての新しいHP製コントローラにはCPD CDが付属しています。CPD CDは、すべてのHP製コントローラのユーザ マニュアル ファイルを収録して、新製品の発表時に更新されます。このため、今後新たにご購入されるHP製コントローラには、より新しいバージョンのCPD CDが付属している場合があります。

このマニュアル ファイルは、CPD CDに収録されているAdobe Acrobat Readerを使用して表示および印刷できます。CPD CDをCD-ROMドライブに挿入すると、Adobe Acrobat Readerをご使用のシステムにインストールするためのウィザードが表示されます。

5. 印刷されたマニュアル

- 『インストレーションの概要』
- 保証規定書
- このコントローラについての最新情報が記載された他の資料 (ある場合)

印刷された『HP Smartアレイ641/642コントローラ ユーザ ガイド』がオプション キットに付属している場合もあります。

インストール手順について

このポスターの裏面には、コントローラを**新しいシステム**にインストールする手順が示されています。

コントローラを**既存のシステム**にインストールする場合も手順は類似していますが、以下の順序で作業を実行する必要があります。

1. システムのデータのバックアップをとります (Smartアレイ以外のコントローラからアップグレードする場合、この作業は**必須**です)。
2. システム ファームウェアを更新します (第2項)。
3. コントローラをブート デバイスとして設定する場合は、ここでオペレーティング システム用デバイス ドライバをインストールします (第6項) (コントローラをブート デバイスとして**設定しない**場合は、後の手順で指示があるまでデバイス ドライバをインストールしないでください)。
4. コントローラ ハードウェアをインストールします (第1項)。
5. コントローラの順序を設定します (第4項)。
6. コントローラ ファームウェアを更新します (第2項)。
7. システム コンフィギュレーション ユーティリティを使用している場合は、システム パーティションを更新し (第3項)、コントローラの順序が変化していないことを確認します (第4項)。
8. コントローラをブート デバイスとして設定しない場合は、ここでデバイス ドライバをインストールします (第6項)。

以上で既存のシステムへのインストールは完了です。インストールが完了すると、次のことができます。

- HPのWebサイト<http://www.hp.com/servers/manage/> (英語) で新しいバージョンのInsightマネージャおよびマネジメント エージェントが提供されている場合、これらを更新できます。詳しい手順については、Insightマネージャのマニュアルを参照してください。
- 必要に応じて、論理ドライブを作成、変更、およびフォーマットできます。
- Smartアレイ以外のコントローラからアップグレードした場合、バックアップからデータをリストアできます。

インストール手順

作業を開始する前に、必要な最新バージョンのドライバおよびユーティリティ ファイルが揃っていることを確認してください。HPのWebサイト<http://www.compaq.com/support/files/>（英語）にあるファイルと、コントローラキットに付属のソフトウェアCDに収録されている同じファイルのバージョン番号を比較してください。

コントローラを既存のシステムにインストールする場合は、このボスターの「インストール手順について」（この裏にあります）を参照してください。

インストールの各手順について詳しくは、『HP Smartアレイ641/642コントローラ ユーザ ガイド』を参照してください。

1. ハードウェアのインストール



警告: けがや装置の損傷を防ぐために、次の点に注意してください。

- 電源コード接地ピンを使用可能にしておいてください。接地ピンは重要な安全機能です。
- いつでも容易にアクセスできるアース付きコンセントに電源プラグを差し込んでください。
- コンセントまたはサーバからすべての電源コードを取り外し、サーバの電源を切ってください。
- システムの内部部品やハードディスク ドライブが十分に冷めてから手を触れてください。

コントローラ ハードウェアをサーバにインストールするには、以下の手順に従ってください。

- 通常の手順でシステムをシャットダウンしてサーバの電源を切り、外部ストレージ ユニットの電源を切ります。
- すべての周辺装置の電源を切ります。
- サーバからすべての電源コードを取り外します。
- サーバのパネルを開きます。
- 空いている3.3V PCIまたはPCI-Xスロットにコントローラ ボードをインストールします。
- 内蔵ハードディスク ドライブを新しいコントローラに接続します。
- サーバのパネルを閉じます。
- すべての外部ケーブルをサーバに再び接続します。

2. システム ファームウェアの更新

HPのWebサイトにあるSmart Componentをダウンロードし、Smart ComponentのあるWeb ページで提供される詳細手順に従って、ファームウェアを更新できます。

また、サーバがオペレーティングシステムとしてMicrosoft Windows 2000またはWindows NTを使用する場合、コントローラキットに同梱のソフトウェアCDを使用してファームウェアを更新できます。

注: 最新のProLiantサーバには、最初に電源を入れたときに自動的にシステムおよびコントローラのファームウェアを更新するものがあります。特定のサーバについて、これに該当するかどうかを識別するには、そのサーバ専用のセットアップ/インストールガイドを参照してください。

CDを使用するには、以下の手順に従ってください。

- サーバのCD-ROMドライブにCDを挿入します。
オフラインの間にファームウェア アップデートを実行したい場合、ここでサーバを再起動し、次にコントローラの初期化が完了するのを待ちます。
ProLiantストレージ ソフトウェアのライセンス契約ページが表示されます。
- [Agree]をクリックします。
ProLiantストレージ ソフトウェアのメイン画面が表示されます。
- [ROM Update Utility]をクリックします。
- [Updates]タブをクリックします。
- [Express]または[Custom]モードを選択し、画面上の指示に従ってシステムおよびコントローラのファームウェアを更新します。

重要: サーバがRBSUを実行しない場合、ここでシステム コンフィギュレーション ユーティリティ (SCU) を使用してシステム パーティションを更新する必要があります。

3. システムの設定

新しいサーバの多くはROMベース セットアップ ユーティリティ (RBSU) を使用してシステムを設定します。

システムがRBSUをサポートしない場合、システム コンフィギュレーション ユーティリティ (SCU) を使用します。また、すでにSCUを使用してサーバの設定が行われている場合は、システム パーティションの更新に再度SCUを使用する必要があります。SCUの使用について詳しくは、サーバセットアップ/インストールガイドを参照してください。SCUを使用した後、「コントローラの順序の設定」の項の手順に従ってコントローラの順序が変化していないことを確認します。必要に応じて、コントローラの順序を再設定してください。



注意: SCUを使用して設定されたシステムに対しては、RBSUを使用しないでください。データが消失する可能性があります。

注: 最新のProLiantサーバには、最初に電源を入れたときに自動的に自己設定するものがあります。特定のサーバについて、これに該当するかどうかを識別するには、そのサーバ専用のセットアップ/インストールガイドを参照してください。

RBSUを使用するには、以下の手順に従ってください。

- サーバの電源を入れます。
- 画面にRBSUプロンプトが表示されている数秒の間に、F9キーを押してRBSUを起動します。
- 画面上の指示に従ってシステムを設定し、ブート コントローラの順序を設定します。
- 設定を保存して、ユーティリティを終了します。
- 新しい設定を有効にするためにサーバを再起動します。

4. コントローラの順序の設定

「システムの設定」の項でRBSUを使用してコントローラの順序を設定しなかった場合は、ここでOption ROM Configuration for Arrays (ORCA) ユーティリティを使用して設定できます。

1. サーバの電源を入れます。画面にORCAプロンプトが表示されている間に、**F8**キーを押してユーティリティを起動します。
2. 画面上の指示に従ってブート コントローラの順序を設定します。
3. 設定を保存します。
4. ORCAを使用して論理ドライブを作成しない場合は、ユーティリティを終了します。

5. 論理ドライブの作成

システムに論理ドライブおよびデータがすでに含まれている場合は、この時点で新しい論理ドライブを作成する必要はありません。直接「デバイス ドライバのインストール」の項に進んでください。

注: 最新のProLiantサーバには、最初に電源を入れたときに自動的に論理ドライブを作成してRAIDレベルを設定するものがあります。このように動作するには、サーバの内蔵ハードディスク ドライブが7台より少なく、ブートドライブに書き込まれていないことが前提となります。特定のサーバについて、これに該当するかどうかを識別するには、そのサーバ専用のセットアップ/インストールガイドを参照してください。

未設定のサーバにコントローラをインストールする場合は、デバイス ドライバをインストールする前に、ACUまたはORCAを使用して、少なくとも1つの論理ドライブを作成する必要があります。

ACUの使用について詳しくは、『HPアレイ コンフィギュレーション ユーティリティ ユーザ ガイド』を参照してください。このガイドは、ユーティリティと同じCDで提供されます。または、HPのWeb サイト<http://www.hp.com/>（英語）からもダウンロードできます。

ORCAを使用するには、以下の手順に従ってください。

1. サーバの電源を入れます。画面にORCAプロンプトが表示されている間に、**F8**キーを押してユーティリティを起動します。
2. 画面上の指示に従って論理ドライブを作成します。
3. 設定を保存して、ユーティリティを終了します。

6. デバイス ドライバのインストール

コントローラ キットに付属のソフトウェアCDのいずれかを使用し、デバイス ドライバをインストールします。

SmartStart自動インストール パスを使用して新しいサーバにオペレーティング システムをインストールした場合、ドライバはその時点で自動的にインストールされます。古いシステムでドライバを手動で更新する場合もSmartStartが使用できます。詳細については、SmartStartのマニュアルを参照してください。

サポート ソフトウェアCDを使用した場合、デバイス ドライバのインストール手順はオペレーティング システムによって異なります。システムが新規のものであるか、すでにオペレーティング システムがロードされていてユーザ データを保持しているかによっても手順が異なります。詳細な手順については、CDに付属のブックレットを参照してください。

以上でインストールは完了です。

インストールが完了すると、必要に応じて、論理ドライブを作成、変更、およびフォーマットできます。